

2023年上半期の出来事



【米国】大手IT企業で1万人規模のリストラ続く

Amazon社の1.8万人のリストラに続き、マイクロソフト社 1万人、Google（アルファベット社） 1.2万人のリストラを相次ぎ発表。米国の景気後退リスクに対する予防的措置として警戒広がる。

【ChatGPT】文章生成AIの人気沸騰、早くも規制論

昨年11月に一般公開された「ChatGPT」から人気に火がついた文章生成AIサービス。論理的かつ自然体な長文が自動生成できるとあり、未来のWord・Excelソフトと言われれば十分に注目を集めた。一方で誤情報の生成リスクやAI学習のための元ネタ情報の著作権の扱いなど課題も山積。



【トルコ・シリアでM7地震】死者5万人超

トルコ南東部を震源としたM7.8地震が発生。トルコと隣国シリア合わせて死者は5万人を超えた。耐震基準を満たさない違法建築の横行で建物崩壊による被害が拡大したとの見方。

【桜シーズン】訪日外国人が月180万人まで回復

3月の訪日外国人旅行者数は181万人を記録。全体2割は韓国からの旅行者。次いで台湾、アメリカ、香港と続く。中国は団体旅行を解禁しておらず、7万人にとどまる。国際クルーズ船の受け付けが再開されたのに加え、桜シーズンとあって旅行者が増加したとみられる。新型コロナ流行前には月200万人台で推移しており、これに近い数値に戻ってきた。

【WBC】日本が3大会ぶり優勝、MVPに大谷翔平

2017年以来の開催となった第5回WBC（World Baseball Classic）。日本代表は決勝戦でアメリカ相手に2-3で勝利。最終回の最終打席で大谷翔平がマイク・トラウトを三振に打ち取って世界一を決める劇的展開。日本代表に加わった日系アメリカ人のメジャー選手の知名度も高まる。



【日本発アニメ映画の海外ヒット続く】

新海誠監督の『すずめの戸締まり』に始まり、『スラムダンク』『ONEPIECE FILM RED』『スーパーマリオ』など海外だけで興行100億円を超えるヒット作品が相次ぐ。特に『スーパーマリオ』は世界興行収入が1900億円を超える歴史的ヒット。アニメ映画で世界歴代2位の興行収入を記録した。

【WHOは新型コロナ緊急事態宣言を終了】

2023年5月8日をもって日本国内での新型コロナウイルスの位置づけが「5類」に移行。季節性インフルエンザ同等レベルに。また、WHOは2023年5月5日をもって緊急事態宣言を解除。約3年3ヶ月続いた新型コロナ時勢に区切り。

【社会】卵不足&価格高騰が続く

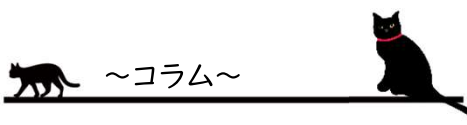
農林水産省調査でたまご1パック（10個入）の全国平均価格は297円に（4月調査）。例年210円～220円の間で推移しているが、鳥インフルエンザによる鶏の殺処分が続き、卵の供給不足、および卵価格の高騰が続く。飲食チェーン店では卵関連商品の販売取りやめなどの影響も。

【経済】日経平均株価が本格的な上昇基調に

日経平均株価は3万円を超え、3.3万円台まで回復。バブル経済最中の1990年3月以来33年ぶりとなる最高値を更新した。世界的なコロナ明けに伴う経済回復基調に加え、日本国内ではインバウンド回復や円安による輸出関連株の買い注文の広がりがプラス材料に。



コスモス
花言葉：「乙女の真心」・「優美」



～コラム～

いよいよ秋も深まり冬に向かう季節です。朝晩肌寒く感じる日も増えてきました。インフルエンザ、風邪等には十分お気をつけてお過ごしください。今月もどうぞよろしくお祈りします。

HONESTY OFFICE SUPPORT



フロレテ フロレス

～花よ 花開け～



～ TABLE OF CONTENTS ～

1	お知らせ
2	ビジネス/LIFE
3	今月の話題

NEWSLETTER Vol.224

NOV'15

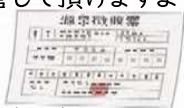


日々のお仕事お疲れ様です。
秋から冬へと季節が変わり、体調管理には特に注意が必要な季節となります。感染予防をしっかりと行いましょう。

今月のお知らせ

源泉徴収票は保管して下さい

来月12月に送付いたします給与明細に本年度分の源泉徴収票を同封させていただきます。
原則再発行は致しませんので、大切に保管して頂けますようお願いいたします。



年末年始休業日のお知らせ

令和4年12月29日(金)～
令和5年1月3日(水)

誠に勝手ながら、上記期間はオフィス休業となります。
お休み中の緊急連絡・ご相談等は、担当営業携帯までご連絡をお願いします。

定期健康診断のご案内

オネスティでは定期健康診断を実施しております。
対象者には、案内を送付しておりますので早めの予約と受診をお願いします。

ご質問等は、オネスティ総務へお問い合わせ下さい。
☎ 0120-145-309
✉ soumu@e-honesty.co.jp

物流業界の2024年問題

物流業界において働き方改革によって発生する諸問題のことです。法改正によって、時間外労働の上限規制や割増賃金率の引き上げがトラックドライバーに適用されることで、さまざまな問題が発生すると考えられています。

○時間外労働の上限規制の適用

2024年4月1日から、トラックドライバーに時間外労働の上限規制が適用されます。



【法改正】時間外労働の上限規制の内容

●大企業・中小企業

●自動車運転業務を行う企業

▽原則 ・月45時間 ・年360時間 ▽特別条項付きの労使協定を結ぶ場合 ・年720時間 ・複数月平均80時間(休日労働含む) ・月100時間未満(休日労働含む) ・年6ヶ月まで月45時間を超えられない	特別条項で労使協定を結ぶ場合 ・年960時間 ※以下の規制は適用されない ・複数月平均80時間以内 ・月100時間未満(休日労働含む) ・年6ヶ月まで月45時間を超えられない
--	--

トラックドライバーは、これまで時間外労働の上限がなかったため、年960時間を超えていた場合でも問題なく働くことができました。
しかし、時間外労働の上限規制が適用されることで、年960時間以上働いている従業員は労働時間が減少する可能性があります。

○割増賃金率の引き上げ



2023年4月1日から、トラックドライバーの割増賃金率が引き上げられます。法改正によって、中小企業における月60時間を超える時間外労働の割増賃金率が25%から50%に引き上げられ、トラックドライバーにも適用されます。時間外労働の上限規制に加えて、時間外割増賃金の引き上げが適用されることで、2024年頃から物流コストが高騰する可能性が懸念されています。

○物流業界が抱えている問題

人材不足・高齢化
労働時間の長さ
増え続ける物流量

○2024年問題の影響

売上・利益が減少する
ドライバーの収入が減少する
荷主に対する支払運賃が上がる

○政府は「2024年問題」への緊急対策として「物流革新緊急パッケージ」というものを10月に決定しました。

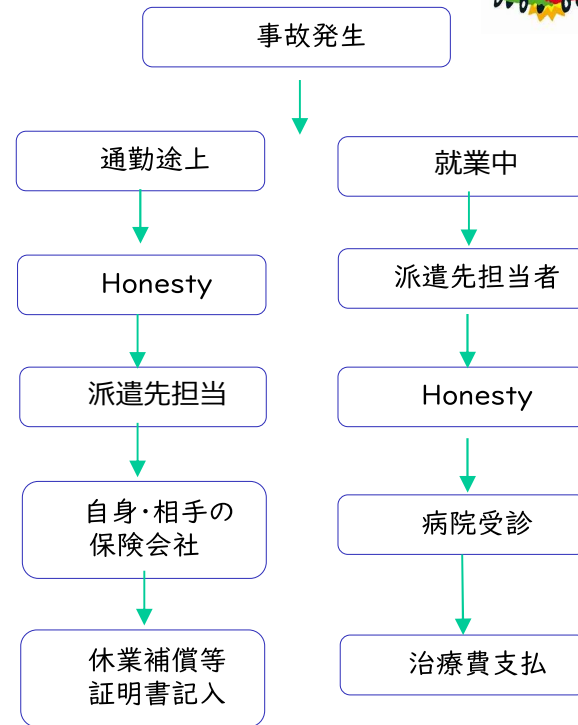
長時間労働の原因ともなっている再配達率の割合を半分にするため、「置き配」へのポイント制度を導入。通販事業者に注文する際に「置き配」を選んだ人は事業者からポイントがもらえ、政府は事業者の経費を支援する。「置き配」は、自宅の玄関前だけが対象ではなく、「コンビニ店舗などでの受け取り」にも適用される予定です。



オネスティからのお願い

2023年も残り2カ月を切りました。
年末に向け、公私共に慌ただしくなる時期です。
十分に気を付けていても思わぬところで怪我をしまったり、事故に遭遇してしまったり...

就業中の事故については下記の手順に従い速やかにご連絡下さい。



※オネスティ営業時間外は、
担当営業携帯へご連絡下さい。

年末に近づくにつれ、交通量が多くなるため、予定どおりに進まなくてイライラすることも…。イライラや焦りは、危険運転に繋がる恐れがあります。ドライバーの方は事故が多発する時期である意識していつも以上に運転に気を付けてください。また、歩行者や自転車の方も無茶な横断を絶対にしない、携帯に気を取られて車道にはみ出ないといったことを心がけましょう。安全に今年を締めくくれるよう、お過ごしください。